



SONGWON Industrial Group、2025 年第 3 四半期の決算を発表

- 当期の連結総売上: 2,586 億 1,600 万 KRW
- 当期の売上総利益率: 13.6%
- 当期純利益: 16 億 9,700 万 KRW

ウルサン・韓国 – 2025 年 11 月 13 日 – SONGWON Industrial Group (www.songwon.com) は本日、2025 年第 3 四半期の決算を発表しました。当期、当グループの連結売上は、前年同期 (2,857 億 7,900 万 KRW) 比 9.5% 減の 2,586 億 1,600 万 KRW となりました。当期の売上総利益率は、13.6% (前年同期: 17.6%) で、当期純利益は、16 億 9,700 万 KRW となりました。

2025 年の年初からの 9 か月間 (2025 年 1 月 1 日 ~ 2025 年 9 月 30 日) の当グループの連結売上は、前年同期 (8,150 億 5,200 万 KRW) 比 1.9% 減とわずかに落ち込み、7,997 億 7,700 万 KRW で着地しました。純利益は 50 億 7,300 万 KRW、売上総利益率は前年同期 (2024 年 1 月 1 日 ~ 2024 年 9 月 30 日) の 16.5% を下回る 14.3% となりました。

単位は百万 KRW	第 3 四半期			9 月までの累計		
	2025	2024	Δ%	2025	2024	Δ%
売上	258,616	285,779	-9.5%	799,777	815,052	-1.9%
売上総利益	35,189	50,203	-29.9%	114,559	134,505	-14.8%
売上総利益率	13.6%	17.6%		14.3%	16.5%	
営業利益	5,391	22,163	-75.7%	24,920	50,710	-50.9%
EBITDA	15,373	31,608	-51.4%	55,397	79,617	-30.4%
EBITDA (%)	5.9%	11.1%		6.9%	9.8%	
金利税引前利益	4,075	21,599	-81.1%	23,436	49,132	-52.3%
EBIT (%)	1.6%	7.6%		2.9%	6.0%	
当期純利益	1,697	11,492	-85.2%	5,073	28,729	-82.3%

当期も依然として、世界の化学業界は不安定な状況に見舞われ、厳しい市場変動の影響が、SONGWON の業績全体に及ぶ結果となりました。当期インダストリアルケミカルズ部門の売上は、1,875 億 1,700 万 KRW と前年同期 (2,161 億 1,500 万 KRW) を下回り、9 月までの累計売上も前年同期 (2024 年 1 月 1 日 ~ 2024 年 9 月 30 日の累計売上: 6,157 億 1,600 万 KRW) 比 4.7% 減の 5,866 億 6,900 万 KRW) で着地しました。当期パフォーマンスケミカルズ部門の売上は、前年同期 (696 億 6,400 万 KRW) 比を上回る 710 億 9,900 万 KRW となり、9 月までの累計売上も前年同期 (2024 年 1 月 1 日 ~ 2024 年 9 月 30 日の累計売上: 1,993 億 3,600 万 KRW) 比 6.9% 増の 2,131 億 800 万 KRW) となりました。

インダストリアルケミカルズ部門は、当期も引き続き、弱気な市場状況、競争の激化、ヨーロッパにおけるエネルギーコスト高、米国の貿易措置によるアジア市場への影響の煽りを受ける結果となりました。一方で、価格設定の改善、原料価格の低下、有利な為替効果が影響軽減の追い風となりました。当期、添加剤事業部門では、アメリカでの需要の落ち込みに加え、製品ポートフォリオからヒンダードアミン系光安定剤 (HALS) を除外したことにより受注量が減少しましたが、価格上昇、有利な為替レート、製造コストの削減がプラスに働き、売上高と利益率は共に概ね計画水準を維持しました。当期、燃料&潤滑剤事業部門を取り巻く市場環境は厳しかったものの、顧客からの安定した需要に支えられ、受注量は堅調に推移しました。

一方で、数式ベースの価格設定、地政学的要因、アメリカの貿易措置、依然として続く中国の景気回復の鈍化が向かい風となり、売上は前年同期比でわずかに落ち込みました。上期堅調な業績を維持していたコーティング事業部門は当期、主に自動車および建設業界からの需要の低下と依然として続く市場における値下げ圧力の煽りを受け、受注量と売上の低下に見舞われました。

パフォーマンスケミカルズ部門は、厳しい市場状況が続いているにも関わらず堅調な業績を維持しました。当期スズ中間体事業部門では、日本と EMEA での需要低下、他地域における競争の激化、依然として続く世界規模の物流課題が主なマイナス要因となり、受注量が低下しましたが、錫インゴット価格の高騰が寄与し、当期を通して売上は堅調に推移しました。PVC 事業部門は当期も引き続き、韓国と日本からの需要低迷が続いたものの、業績全体の向上につながっている EMEA での堅調な成長を後ろ盾に、SONGWON の市場シェアを守り、新たな商機の開拓を推進しました。ポリウレタン事業部門と熱可塑性ポリウレタン (TPU/SPU) 事業部門は当期、依然として続く景気後退による韓国での需要低迷にも関わらず、海外での堅調な売上がプラス材料に計画通りの業績を達成しました。

SONGWON は、季節的な要因、世界的な需要の鈍化、供給が需要を上回っている業界の現状が下押し要因となり、2025 年第 4 四半期も引き続き苦戦を強いられると見込んでいます。また、例年通り実施される顧客による年末の在庫調整により、これらの問題に拍車がかかることが予測されていることに加え、顧客の慎重姿勢や、リードタイムが短縮傾向にあることも手伝って、見通しを予測することが困難な状況にあります。年間の受注量は前年をわずかに下回るものの、価格の改善とコスト効率の向上により、売上高と売上総利益は共に横ばいに推移することが予測されます。先日発表されたサウジアラビアの OPS (ワンパックシステム) 製造施設への新規建設投資など戦略的な取り組みが、今後の成長の足がかりとなると期待しています。SONGWON は、戦略的優先事項を実行しオペレーションのアジリティを維持することで、自社の市場での地位強化、長期的な価値創出、顧客及び市場の進化するニーズへの対応を目指していきます。

第 3 四半期報告書は、<https://www.songwon.com/investors/reports-publications> からダウンロードできます。

SONGWON Industrial社について

SONGWONは、スペシャルティケミカルズ製品の開発、生産、供給におけるリーディングカンパニーで、当社の製品は皆様の日常生活のいたるところで使われております。1965年の設立以来、カスタマイズしたソリューションの提供を通じてイノベーションを主導し、成長のための業務提携を進め、より持続可能な明日を目指して来ました。

韓国に本社を構える SONGWON は、世界有数のポリマー添加剤メーカーです。世界各国にグループ会社とワールドクラスの製造工場を展開し、60を超える国のお客様に向け、それぞれお客様のニーズを満たす高品質の製品と、最高水準のサービスを提供するよう取り組んでおります。

詳細はこちら：www.songwon.com。

本プレスリリースは以下のサイトよりダウンロードできます

www.PressReleaseFinder.com。

お問い合わせ:

SONGWON Industrial Group

Marcel Romer

Corporate Communications Manager

Walzmühlestrasse 48

CH-8500 Frauenfeld

Switzerland

電話: +41 52 635 0000

メール: marketing@songwon.com

メディア関係および掲載記事に関するお
問い合わせ:

Masayuki Fukushima | 福島昌之

PR Director | PR ディレクター

Tokyo PR Inc. | 株式会社 東京 PR

101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-18
シャテニエ神田 3F

電話: +81-(0)3-6260-7541

メール: fukushima@tokyopr.co.jp

www.tokyopr.co.jp

[LinkedIn](#) をフォローしてください。

SWPR288JP1125
2025 年 11 月 13 日
5/5

It's all about **the chemistry**®

